

会工同窓会会報

発行所

福島県会津若松市
徒之町1の37

発行人 吉田一栄

平成六年度総会

平成六年十一月二十日

校歌

一、嶺は秀づる磐梯山
水は湛ふる猪苗代
これぞ乾坤秀霊の
精気鍾り成る處
明治三十七春なれば
礎堅くきづかれて
星霜ここに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
身には白虎の粹を享け
鶴を徽章に雄雄しくも
至誠勤勞一すぢに
進む健児の意氣高し
時つ嶺は峻しくも
寄せる波は高くとも
これ奮闘の活舞臺
これで我等の天地なる



雑感

会工同窓会会長

吉田一栄

秋も深まり、磐梯山も初雪で薄化粧をする季節となりました。同窓生会員の皆様には、ご健勝のこととお察し申し上げます。
さて、この三月に会工所蔵作品図録と染色型紙図録（一千部）を刊行することが出来創立九十周年の記念事業計画が一切無事終了することが出来ました。これも学校当局の絶大なご協力と同窓生の方々のご支援の賜物と紙面をお借り致しまして深く御礼申し上げます。
今年は例年になく猛暑で、あつい、あつい、の連発から、もうこれからは、さむい、さむい、の季節へと移行行くのはまったく早い

ごあいさつ



平成六年度会工同窓会総会の開催、まことにめでたうございます。
日頃、吉田一栄会長はじめ同窓生の皆様方には、何かと御支援、御協力を賜り、まことにありがたく、この場をお借りして心から厚く御礼申し上げます。
さて、本校では、今年が三年に一度の学校祭、即ち「会工祭」開催の年に当たっており、過日、盛大に開催されました。十月二十九日（土）、三十日（日）の両日にわたった一般公開においては、前回は五百名ほど上回る約四千名の入場があり、好評を博した所でありました。
特に、今回は、初の試みとしてPTAも参加したことが、会工祭を盛り上げる上で、大きな働きがあったものと思っております。P

県立会津工業高等学校校長

猪狩次夫

本年は久々に五月に昭和電工同窓会工芸総会が盛況に開催されたのを皮切りに、六月には郡山、東海、近畿、会工同窓会と例年以上の盛り上がりを見ることが出来ました。九月には会津坂下、東京会工芸と締めくくられた総会でありました。東京会工芸では室井忠六氏が会長として再選されました。また、室井忠六氏は「たくましき男たち」の著書を発表され、その心意気やすいことです。また、会津地区でも堤章氏の「会津の鍛冶」四部の大作と大塩唯男氏の「私の達った「御仙」と諸先輩方が夫々立

世話になり、大同窓会旗を二枚と支部旗五枚を作製して戴き皆様の前に披露することが出来ました。田代先輩の作品の出来上りのすばらしさに感心致しました。
三年に一度の会工祭が行われ初の試みであったPTAのバザーが大好評であったこと、役員の皆様及び会員各位のご協力、ご苦労に頭が下がります。
今回建築科の作品の中で旧講堂の模型の前にその作品の精巧さと出来映えに、懐かしさと共に青春時代の思い出が去来し、しばし足元を停めたそうですが、振り返れば我々が学生時代の思

TAは、保護者や職員から提出された品物をもとにバザーを実施しましたが、その売上金を学校へ御寄付いただいたというところもさることながら、役員の方々が会工祭に参加したことによって、会工自体について、そして自分の子供について、といういい意味で認識を改めた、という反省にも象徴されるように、学校や生徒達に対する意識のさらなる高揚を図る契機となったことは、まことに有意義なことであり、得難い収穫であったと感謝いたしております。
また、本県においては現在、いよいよ来年に迫った福島国体へ向けて、その準備も最終段階を迎えようとしておりますが、運動部の盛んな本校においても県の強化指定を受けている、新

厳しい就職活動が強いられ、暗幕については、県の予算に含まれておりません。このため、学校独自で準備せざるを得なかった訳であります。限られた団体会計だけではそれもままならず、同窓会にお願いいたしましたところ、快く御承諾いただき多額の御援助の下に取りそろえることができました。これで、今年の卒業式は、新装なった体育館で執り行うことができ、見通しが立ち、大変嬉しく思っております。重ね重ね、同窓生の皆様方に感謝申し上げる次第であります。最後に、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、今後とも本校の充実発展のため、御指導いただきますようお願い申し上げます。いさつといたします。

近況報告

東京会工会副会長

板橋 桂

東京会工会の近況を申し上げます。
平成六年度の総会は、九月十日(土)上野精養軒で、約一〇〇名の参加がありました。盛況に終りました。
平成二年六月十日(日)東京会工会発足八十周年記念総会で、井上前会長から、室井会長にバトンタッチされてから五年になるわけですが、時代に順応した東京会工会のあり方は何如にあるべきかの方向づけに、試行錯誤の模索をくり返しながらも組織体としての運営についての型式は、おおよそ定着されたといった感じがします。
財政の収入源は、基本的には属人的収入はしない、事業収入をベースとして、一般会計に基金会計を導入したかたちで運営されております。

近畿会工会副会長

大島 武二

待望の関西新空港がオープン「世界が大阪へやってくる」として陸・海・空のアクセサスが整備され、盛大な数々のイベントも成功を取り、国際化を目指す地域としてスタートできたことは、大いに期待されようとして、近畿会工会の近況(余り目新しいものはない)を報告致します。
去る六月、平成六年度近畿会工会総会はゆかりの地、京都市「くまの会」にて会員二十数名、来賓三名を招待し開催しました。来賓の吉田同窓会長、半野教頭、江花先生は遠路、ご多用中にも拘わらずご出席頂き、故郷の話、母校の生徒の進学、厳しい就職指導など、

り錦を飾る人が就任するものだとするような風調がありますが、これ等だけに維存すると、バイタリティを失なってしまうので、人それぞれに持っている能力とそれぞれの年代層の考え方を呼び込んで、年齢構成の平準化を計ろうとするものです。

この他にもいろいろな課題がありまして鋭意取り組んでおりますが、その共通の範疇は、小生の私観ですが、東京会工会という団体は何であるのか、目的は何か、組織活動が何故必要なのかといった構成要素についての探索と定義づけが必要になってくるのでは、ないかと推察しております。

東京会工会八十周年の歴史を聞き及びますと数度の中断がみられます。世の趨勢は栄枯盛衰を常としますが、同窓会に対する認識が「同じ釜のメシを食った仲間」「意識の価値観だけで支えられてきたために、不足するものが生ずると、頓挫してきたのではないだろうかと考えるからです。仲間意識といった情念は人の共感を呼びますが、大

ることをお薦め致します。最近、会津高校(旧会中)関西同窓会の第二回総合が大阪市の神仙閣で会員六十名(名簿上一七〇名)が出席し盛大に開催されました。当日、若林会長が招待された祝辞を述べております。今後は、同郷の友として合同会合を開き、深い親睦関係を保つべく立案することの呼びかけがありましたことをお知らせ致します。

その他、関西地区では会津高女の同窓会も活発に運営されているとか。
新役員の今後の課題は、申すまでもなく若年会員の動員と、案内通知しても応答のない会員への対応に努力して行かざるを得ない。最後に同窓会の皆様のご健勝とご活躍を祈念致します。以上

各科紹介

インテリア科

主任 江花光泰

今年は四つの科の努力目標を設定して進んでいる。一、学習意欲の向上を目標とする。二、進路指導の充実をはかる。三、進路指導の充実をはかる。四、進路指導の充実をはかる。

父母の結びつきが出て来つつある。これ等の影響が実習時の服装・態度も落着いたものとなってきている。三、進路指導の充実をはかる。四、進路指導の充実をはかる。

就職ではご存知のような不況に見舞われて、高校生希望者に配慮した大巾な選択の導入、そして専門教科でも三本柱の座学として「インテリア計画」「インテリアエレメント生産」「インテリア装飾」を充実強化し、実習系で「課題研究」は教員の特質と生徒の希望を生かす方式に、またデザインから製作へ基礎造形の重視と情報関連のNC化及びCG、製図のCAD化の模索も進めている。二つに基本的な生活習慣の確立を

考え、家庭との共同をはかっている。まだ不十分どころもあるが、教員と

くるとは思いますが、四つで専門の各種資格の取得をはかる。これ迄のレタリングやトレス検定の他にインテリアデコレータの資格取得者も出てきている。

以上、四つのそれぞれの分野で生徒共々努力しているところですが、今年九月の中学生の進路希望調査によれば、インテリア科には定員の二倍を超える九四名の希望者があり、産業背景も含めて社会的要請の強い学科であることを改めて認識しながら教員一同、力を合せて頑張っていきたいと思っております。同窓諸氏のご声援を心よりお願い申し上げます。

セラミック科

主任 斎藤四志男

今夏は、観望上例にない暑さで、先輩諸氏も体調の維持に大変なご苦労があったかと推察申し上げます。しかし季節の移り変わりは早いもので、夏のあたたかさを懐かしむようにも寒い晩秋を迎え、何かとご多忙な毎日ではないかとご察し申し上げます。

セラミック科が昭和61年4月に設置され今年度(平成6年4月)の入学生が第九回生となります。平成7年4月には第十回生を迎えることとなり、新たな歴史の1ページが誕生致します。

1、今年4月には文部省よりセラミック工業(上、下)が新しい教科書として発行され、ニューセラミックスの内容が大幅に導入されました。

2、セラミック科の新校舎が完成して1年が経過し、実験実習によりよく対応できるように努めています。

3、三年に一度の会工祭では、「ニューセラミックス」の公開展示、「実験実習」のガラスの絵付、「陶磁器

機械科

主任 吉田光男

今年は長びく不況の中で就職戦線を迎え、相当苦戦が予想されたが、失点を最少限度に食い止めることができました。これらもひとえに、先輩諸氏のご支援の賜であると深く感謝しています。

今年の進路状況の特徴は、公務員や専門学校への希望者が例年になく多かったです。と、(公務員が十一名、専門学校が十五名がそれぞれ志望)その結果もかなり厳しくなっている。大学進学では、現在までのところ日本工業大学の推薦合格が一名であるが、これから日本大学工学部、会津大学ハードウエア学科、埼玉工業大学、湘南工科大学等と受験することになっているので、好結果を期待したい。

化学工学科

主任 紺野晋吉

同窓会会員の皆様にはご清祥のこととお喜びましょう。化学工学科の現況について記して見たいと思います。

昨年九月から学校も第二土曜日が休日となりました。さらに、来年度からは、第二、第四土曜日が休日になります。それに伴って一週間の授業時数も三十三時間に減少するなど、昔週二回七校時の授業を経験した先輩方にとっては、隔世の感が

あるのではないのでしょうか。今年度の入学生から教育課程が新しくなりました。普通教科は全学科が共通になりましたし、男女とも「家庭科」を履修することになるなど大きく変化してきています。

一年生では、今までと同様に「工業化学」が基本的な科目であることには違いはないのですが、現代の情報社会に対応すべく「情報技術基礎」という科目が新たに加わりました。他に「工業化学」「化学工学」「化学システム技術」などですが、「課題研究」という科目が新しく加わることになって

います。この科目は、いままでの実習がどうしても受動的になり勝ちなので、自らがテーマを選び計画し研究を進めることによって、能動的に事を進めることが出来るようにとの意図があるようにですが、私たち教員にとつては、指導助言に幅広い知識が要求されるよう

です。話は変わりますが、今年度は三年に一度の会工祭が開かれました。化学工学科では、実習公開を主体に展示しましたが、生徒も様変わりして、お祭的なものへの関心が高くて工業高校としての学校祭への関心が薄れてきていることは残念です。三年生の進路に関しては、世の中の不況をまともに受けて、例年になく不合格者が



の給付「セラミック製品」の販売などを企画して、大勢の方々に参観されました。とくに、超伝導の実験、人工骨の公開などでは、友人の方々に人気があったようでした。

4、今年度もバブル崩壊の影響を受け就職も厳しい状況にありましたが、専門分野に希望した生徒が全員合格した為に比較的順調であり、先輩諸氏に改めて敬意を表します。

以上セラミック科の近況報告と致しますが、日一日と寒さが厳しくなりますので、先輩諸氏のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。挨拶と致します。

あるのではないのでしょうか。今年度の入学生から教育課程が新しくなりました。普通教科は全学科が共通になりましたし、男女とも「家庭科」を履修することになるなど大きく変化してきています。

一年生では、今までと同様に「工業化学」が基本的な科目であることには違いはないのですが、現代の情報社会に対応すべく「情報技術基礎」という科目が新たに加わりました。他に「工業化学」「化学工学」「化学システム技術」などですが、「課題研究」という科目が新しく加わることになって

います。この科目は、いままでの実習がどうしても受動的になり勝ちなので、自らがテーマを選び計画し研究を進めることによって、能動的に事を進めることが出来るようにとの意図があるようにですが、私たち教員にとつては、指導助言に幅広い知識が要求されるよう

です。話は変わりますが、今年度は三年に一度の会工祭が開かれました。化学工学科では、実習公開を主体に展示しましたが、生徒も様変わりして、お祭的なものへの関心が高くて工業高校としての学校祭への関心が薄れてきていることは残念です。三年生の進路に関しては、世の中の不況をまともに受けて、例年になく不合格者が

ゴカート
試乗会

その結果、実習公開展示の部で会工祭表彰委員会の推薦により企画準備に力を注いだ生徒達には、在学中の忘れることの出来ない思い出を作ったと思います。

会工祭には多くの先輩・父兄の方が見えられました。その際卒業生の写真の前で足を止めて、懐かしそうに見ておられる姿が目立ちました。卒業生の写真とは、電気・電子科第一回卒業生より、科務室前に展示しておいたもので、会工祭の展示品以上に人気がありました。次回には来客の方がもっと見やすい様に展示しておきます。

から懐旧談に花を咲かされ感慨深げに学生時代を思い出されておられたのが印象的でありました。その後校舎を見学され、施設設備も全く少なかった自分達の時代が懐かしそうに話しておられ、学生時代に若返った様に元気で帰られました。

電気科創設五十年を記念するかのごとく、昨年校舎改築で新しく出来た製図室に今年キヤド装置が設備されました。キヤド用のパソコン二十二台、XYプロット機三台、さらに教師用の大きなパソコン一台、XYプロット機一台とキヤド装置が完備致しました。

現在企業で図面を画くに

会津高田
法用寺三重塔
製作実演中

示。そして、ル・コルビュ
シエのサヴォア邸の模型な
どを展示し、会工祭大賞を
いただきました。（法用寺の
調査につきましては、まだ
途中の段階でありまして、
今後、時間をかけて、調
査していきたいとおもっ
ているだけです。）

以上ですが、最後に建築
科の五年度卒業生の進路状
況をお知らせします。大学
進学3名（内2名女子）短
大進学1名・専門学校11名
（内2名女子）・公務員1
名・就職県内・外それぞれ
10名（内1名女子）。その他
4名（内1名女子）でした。
建築科としては、これか
ら失敗を恐れず、積極的

技大会が開催され本校から
も3チームが出場しました
そのうち、情報技術科3年
の「プロボラ号」が健闘
し、第3位に入賞しました
会工祭でも喜多方工高を招
待して本校チームと模範試
合を行いました。が、県大会
で実力を十分に発揮して5
戦5勝と完全優勝しました
年度末の人事異動で繊維
工業科から勤務していた小
関栄助先生が喜多方工高に
転出し、代わりに東北工業

紹介

今年度の進路希望状況は
大学進学 4 名、短大進学 4
名、専門学校進学 7 名、公
務員 7 名、就職 18 名、厳し
い状況の中、就職希望者は
ほとんど内定しました。
歴史も浅い情報技術科で
すので、同窓生各位のご指
導・ご支援をよろしくお願い
致します。

したいと思ひ

を目標で終わらせず現実のものにしたいと思います。

弓道部

顧問 千葉 聡

現在、三年生が引退し、

八名で少人数ながら、おそ

もと、練習に励んでいます

会での団体準優勝や、会津

好成績を残すことができま

このような結果、やる気

もとつになり、楽しく練習

会でも期待がもてると思い

二年生は各個人、役割り

ニューを決めるなど、日々

今年は県の強化指定校に

これからも先輩方が築き

つかりとした技術を身につ

体の三位一体の精神のもと

を磨き、強い精神力を付け

--	--

陸上競技部

顧問 高橋 盛久

阿部 秀幸

横山 永哉

私達陸上部は毎日陸上競技場に行き、2時間という短い時間、集中して練習を行っています。それに今年の夏は異常に暑かった。しかし、部員は暑さにも負けず毎日来てました。阿部先生も毎日来てくださり真剣に指導して下さいました。その結果、秋の新人大会では部員一人一人が記録をのばして県大会、東北大会と上位に入賞し会津工業陸上部の名前をアピールすることができました。来年もこのいきおいを継続していきたいです。

サッカー部

顧問 渡部元一郎

齋藤 洋

今年、インターハイの地区大会では、予選リーグをトップで通過したが決勝トーナメントでは1勝もすることができず県大会に出場することが出来なかった。全会津総体でも決勝戦までは、勝ち進んだが、1対

柔道部

顧問 高野 啓二

渡部 哲

我々柔道部は、顧問の高野二先生と渡部哲先生のもともとで日々練習にはげんで

体操部

顧問 加藤 義勝

小林 満美

今年度は、部員数6名という少人数で毎日練習に取り組んでいます。今年の成績は、東北高校大会で個人総合優勝と種目別優勝の(3P)本多和宏、種目別(棒)では(2F)二瓶貴之が2位、団体総合2位と好成績をあげました。全国大会では、個人総合7位(本多)団体総合15位と目標であった上位入賞を果たすことができませんでした。東北総体では、団体総合2位、個人種目別でも好成績をあげ、わかしやち団体へ出場することができました。来年度は、ふくしま国体であり、優勝するため気持ちをひきしめて、これからの練習や合宿にと頑張っていきたいと思っています。

バスケット部

顧問 末永 充行

三原 敏男

新田 匡浩

僕達バスケット部は、先輩から学んだ伝統を守りながら一生懸命、練習にはげんでいます。今の部員には、身長180cm以上の人がいないので、高さが無いというのが、欠点です。しかし、それをスピードで補うという目標で毎日走り込んでいます。それと、粘り強いディフェン

水泳部

顧問 紺野 正博

長崎 敏秀

スから自分達のリズムを作って攻撃できるように努力してきました。今後の課題は、鉄壁のチームワークを創ることです。そして県でも上位をめざせるチームになりたいと思っています。

バレー部

顧問 阿部 光

須田 昌義

古畑 一男

今年の会津バレー部は、一年生が五人二年生が八人計十三人と部員が前のチームと比べて少ないですが、一人一人が前の成績より一つ上の成績を目指して練習しています。

卓球部

顧問 小林 昭二

江花 光泰

我々卓球部は二年生十二名、一年生六名、計十八名で自分自身の目標に向かって練習を積んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では団体2連覇を果し、個人戦においても多くの県大会出場を果たしました。これら各大会で優秀な成績を納められたのは、個人の日々の努力と、顧問の先生はじめOBの方々に指導していただけたからだと思っています。十一月に行われる新人戦では、目標を高く持ち、県で上位入賞を目指していきます。卓球部一同、先生、先輩に指導を受け、県で通用する実力を身に付けるよう頑張りたいと思います。

ボクシング部

顧問 長谷川 徹

富樫 実

現在、二年生が1人、一年生が8名の計9名で練習に励んでいます。富山県高岡市で行われた全国インターハイに2名が参加し、ライトウェルター級ではベスト16位になり、全国レベルに近づいています。来年度の福島国体に向けて少年の部では現在の二年生が主力選手になりますが、人数が少ないのが悩みです。9月に行われた県の新人戦では、9名中5名が入賞をばたし、二階級で東北大会に出場が決まっています。今年度より、悲願だった練習場が、週3回ではあります北体育館に確保することができました。また部室も頂くことができました。来年度は県大会が本校を会場で行われる予定です。会場校として立派に努めたいと考えていますので、応援をよろしくお願い致します。

硬式テニス部

顧問 新田 匡浩

本田 一弘

岩淵 浩之

今年の硬式テニス部は、現在三年生を除き、二年生六名、一年生四名と部員こそ少ないが、みんなで協力し合い毎日の練習に取り組んでいます。

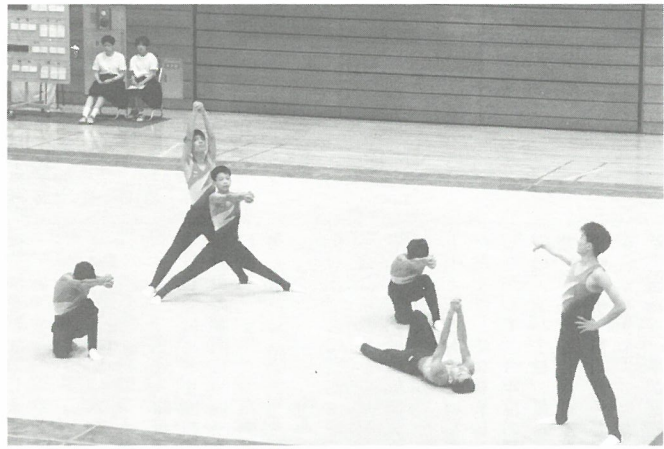
ソフトテニス部

顧問 渡辺 源孝

菊地 寿雄

只木 丈夫

我々ソフトテニス部は、十人という少ない人数で、毎日練習に励んでいます。夏休みは、四日間わたる長い合宿で、きつい練習に耐え、一人一人が精一杯頑張ったせいか、今年の新人大会では団体二位、個人は優勝と三位の成績を修別大会でも個人優勝を果たすというように、部員一人一人が大きく成長することができました。この成長を期に、これからも益々練習に励み、お互いに協力し合って、更なる実力向上を目指して頑張っていきたいと思っています。



・400M自由形 遠藤伸也 第二位
・400M個人メドレー 鈴木孝敏 第五位
・200Mバタフライ 鈴木博之 第六位
・100Mバタフライ 鈴木博之 第六位
・400Mリレー 遠藤伸也・鈴木博之・小林智博・鈴木孝敏 第六位



今回の会津地区新人戦は、夏休みの練習の成果が出たせいか、みごと団体戦で優勝し、個人戦でもシングルス二人、ダブルスも一ペア県大会出場など、なかなかの成績でした。しかし県大会と、二年生の修学旅行とがかさなってしまう、一年生だけで県大会の団体戦に出ることになり、一回戦で双葉高校に残念ながら負けました。個人戦はダブルスが一回戦負けでしたが、シングルスは一年生ながら一回戦を勝ち、二回戦で惜しくも敗退という結果でした。僕たち二年生は出られなかったことは残念でしたが、一年生にとってもとても良い勉強になったと思います。

ターハイですが、どちらの大会もこの冬をどのような練習するかにかかっていると思うので、部員全員が意欲的に活動し、地区大会はもちろん、県大会でも上位入賞できるように頑張っていきたいと思っています。

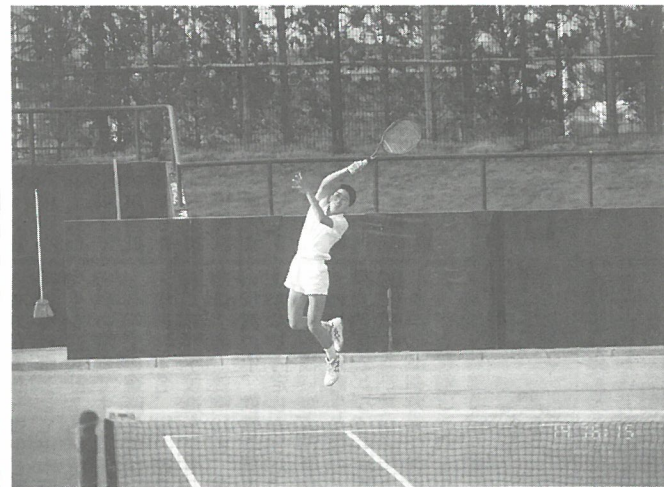


今年、インターハイの地区大会では、予選リーグをトップで通過したが決勝トーナメントでは1勝もすることができず県大会に出場することが出来なかった。全会津総体でも決勝戦までは、勝ち進んだが、1対

僕達バスケット部は、先輩から学んだ伝統を守りながら一生懸命、練習にはげんでいます。今の部員には、身長180cm以上の人がいないので、高さが無いというのが、欠点です。しかし、それをスピードで補うという目標で毎日走り込んでいます。それと、粘り強いディフェン



我々卓球部は二年生十二名、一年生六名、計十八名で自分自身の目標に向かって練習を積んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では団体2連覇を果し、個人戦においても多くの県大会出場を果たしました。これら各大会で優秀な成績を納められたのは、個人の日々の努力と、顧問の先生はじめOBの方々に指導していただけたからだと思っています。十一月に行われる新人戦では、目標を高く持ち、県で上位入賞を目指していきます。卓球部一同、先生、先輩に指導を受け、県で通用する実力を身に付けるよう頑張りたいと思います。



顧問 山内 英一

昨年の総合2位という悔しさをバネにして今年は一生涯懸命練習をしてきたので今年こそは、県総合優勝をして、インターハイ出場、あと福島で行われる福島国体に一人でも多く出場出来るようにがんばりたいと思っています。

顧問 紺野 晋吉

私達山岳部は、二年生が
3人で部活をしています。
普段の部活動は、学校周辺
のランニングや筋肉トレー
ニングなどを行っています。
山行については、四月に
新人歓迎登山で磐梯山に登
りました。この時は天候も
よく一年生たちとも楽し
く過ごしました。

顧問
風間
真一

菅野 幸一
私達空手部は、去る六月三日から五日にかけて行わ

顧問 佐藤 善久

お、来年六月の大会は会津工業が会場なので、応援お願い致します。

顧問 佐藤 茂紀

会工祭上劇まで2週間前
ようやく練習を始めた
こんな短時間にもかかわら
ず少しは他の人に見てもら
えるほどまで夜おそくまで
練習しました。会工祭では
なかなかの演ぎもでき、ひ
とはまず是一件落着。こん
どは秋期演劇コンクールに
向け頑張ります。2年目の演
劇部の活やくにコウゴキタ
イ!!

顧問 松本 善法

小沼 峯生
我々自転車同好会の94年は、昨年より遥かにレベリングアップし、躍動の年となった。このレベリングアップになったことが理由は、今年のインタハイ出場及びその上位入賞の目標があったからである。練習も今年は春先三月、まだ雪が降っている頃から自転車に乗り、登坂ダ

顧問 松本 靖弘

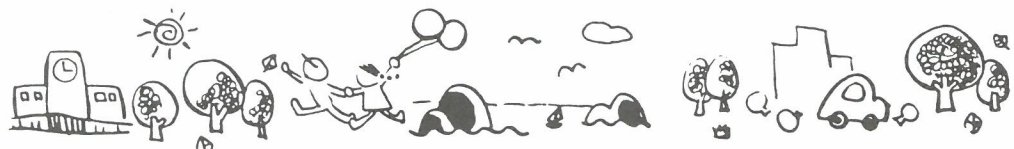
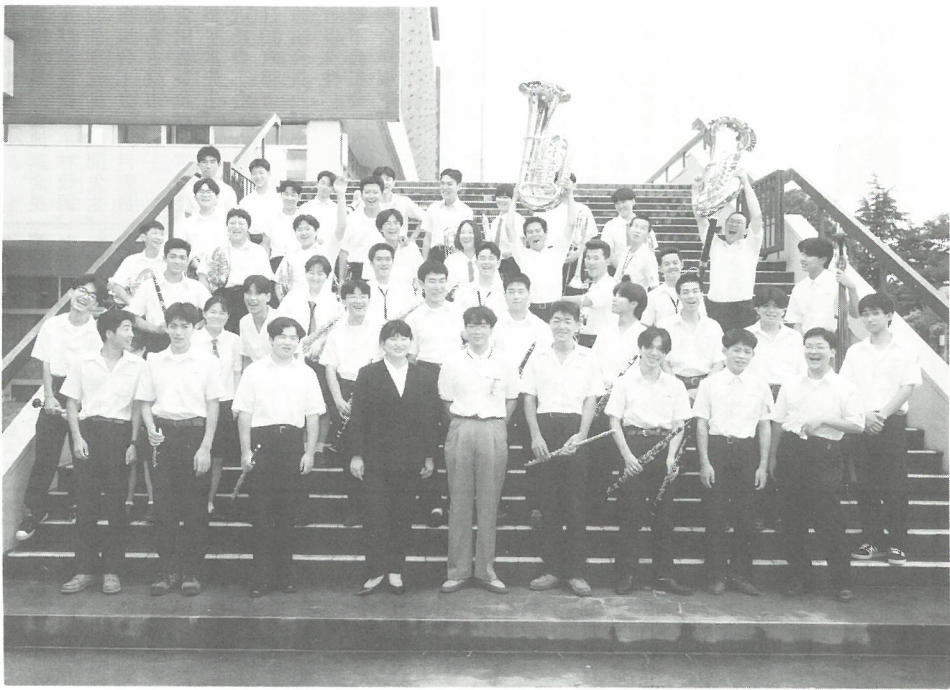
最後にここまで来れたのも、コーチをはじめ諸先生方など周りの励みでしたが、あなたがたからだと 생각합니다。本当にありがとうございます。またこの自転車競技は、まだまだマイナーな競技であるがこれからどんどん広まって欲しいと思います。

顧問 佐藤 容子

今野 澄夫
矢口 義徳
今年の吹奏楽委員会は、
委員四十三名で毎日練習に
励んでまいりました。

顧問
根本
一雄

着任早々、生徒会顧問の仕事をしたが、4月末の生徒総会の準備ということ、平成6年度予算編成に向かって、第二回目の予



平成六年度の会工

福島県立会津工業高等学校

教頭 半野 幸雄

会工同窓会会報第十九号の発行にあたって、皆様の母校「会工」の教育活動の一端をご報告申し上げます。二十一世紀我が国工業技術者養成のため、本校は、猪狩校長中心に教職員一丸となつて指導に当り、これに応え、生徒たちは学習・部活動に励んでおります。

創立九十周年並びに分校四十周年記念追加事業の本校の収蔵品・染色型紙の図録を三月に出版しまして、好評を得ました。過日、国会図書館からも収蔵案内のパンフレットが送られてきました。

九月下旬、電気科第一回生の佐瀬さん他五名の方々が外出になり学校の様子、校内収蔵品室、新しいCAD実習室等を見学され、遠き学びし日々を偲んで帰られました。

本年の芸術教室は、十月七日(金)、創設間もない会津風雅堂での音楽鑑賞でした。従来の市民会館での鑑賞とは比べられず、生徒達は、まさに「芸術鑑賞」をしました。

本年は、三年に一度の会工祭が盛大に行なわれまし。実験、実習の成果の発表、中でも初の県工業高校主催のロボット競技大会で第三位の成績をおさめた作品の展示と模範競技や初参加のししたPTAのパザールは好評で、終了予定時刻の二時間前に売り切れになってしまいました。校内収蔵の美術作品の展示、同窓生・職員の作品展でも、例年になく盛上りをみせ、広がり深きある会工祭となりました。入場者は、

前回は五百人以上を上回り、三千七百余名を数えました。昨年から工事を進めていた体育館が四月初めに完成しました。これは、松江講堂の老朽化に伴う改築と「ふくしま国体」のバレーボール練習会場を兼ねる建物です。広さは、現在の体育館より一回り大きなもので、元のセラミック科の窯場跡と校庭(旧テニスコート)の一部に跨がる場所です。なお、旧講堂跡地は仮の駐車場として使用しています。

平成三年からの南校舎改築以来、従来のテニスコートが無くなり、テニス部の練習は鶴ヶ城と会津総合運動公園のコートを利用していましたが、これらのコートは会津若松市の管理下にあり、書庫手続と費用(年間使用料一人当たり六百円、一面一時間当たり五百円、午後六時以降の使用禁止など)、距離や市民、他校の利用との競合など様々な問題を抱えており、不都合を託っているのが現状です。なお、鶴ヶ城コートは国体終了後、取り壊されお城の復元工事に入るとの情報も入っています。そうならば、総合運動公園のコートでの練習のみとなり、問題が益々大きくなります。そんなことで、校庭を「文武両道」としての本校としては、早いコート復元を県当局に要望していますが、実現には時間が掛かるようです。また、校長も、九十の歴史ある高校にテニスコートが無いのは困ったことだと言っています。なお、旧講堂跡地を仮整地して、コート

異動により次の諸先生方を送りし、新たに次の先生方をお迎えしました。

転出者

及川利彌校長→福島工業高
関根敬次教頭→福島工業高
校定時制教頭、小関栄助教頭→喜多方工業高校、樋口高夫教頭→福島農業高校、高橋弘子主査→若松女子高、黒田悦子主事→点字図書

退職者

石山信一教頭、荒井忠夫教頭、田辺精治教頭、鷺山継義教頭、松本利男時間講師、上田彬時間講師

転入者

白河実業高校→猪狩次夫校長、坂下高校→酒井克彦教頭、喜多方工業高校→古畑一男教頭、福島工業高校校定時制→富樫実教頭、耶麻農山女子高校→只木丈夫教頭、郡山女子高校→岩淵真由実実習助手、会津高校→本間美幸副主査

新採用

新採用→石山晶一教頭、本田一弘教頭、阿部秀幸教頭、鷺山継義常勤講師、石山信一時間講師、山内希巳非常勤講師

継続採用

横山永哉国体補充非常勤講師、山本清三初任研補充非常勤講師、増田令子時間講師、矢口義徳限付実習助手

新入生

推薦入学は、目的意識が明確で、適性があり、成績優秀で人物が優れていること

人事異動

五年度末県教職員の人事

とを条件として、出身中学校長の推薦を受けた者の中から決定されます。

平成六年度におけるI、F、C、M、E、D、J、Aの八学科推薦入学による受験者は二四四名で、合格者は九十八名で、その平均倍率は一・二七倍でした。内女子の合格者数は十一名で、I、A、Jの各学科に合格しました。

一般学力検査では、I科一・一倍、F科一・〇倍、C科一・二倍、M科一・〇三倍、E科一・九倍、D科一・〇六倍、J科一・〇八倍、A科一・〇倍でした。そのため、今までに無く、E、D、Jの三学科が再募集を余儀なくされ、しかも、この三学科は、定員を充足できないまま、新入生総数三十八名新学期スタートしました。

本郷分校は、定時制で業科という特殊性のためか希望者、受験者数共に定員に達していないのですが、例年と大いに異なり、十六名の合格者がありました。これは、入試制度の改革に中学校側が対応できず、進路指導に戸惑いが生じ、郡山方面の私立高校へ進学させたことが窺えます。

部活動

今年度も、高校総体や地区大会では殆どの部が優勝し、高校野球秋季県体や出場、と運動部の活躍が目立ち、文武両道の伝統をしっかりと積み重ねました。県高校総体で好成績を上げ、東北高校総体を経て、全国インターハイに出場したのは、陸上競技、バドミントン、弓道、体操の各部と自転車同好会でした。なお、自転車同好会の三年機械科の古川仁君は全国二位の成績を取りました。これに続き国体に繋がる県総体・東北総体においても同様に活躍しております。

さらに、これから行なわれるスキーの高校総体、県大会での活躍も期待できそうです。

なお、スキー、バドミントン、弓道、体操の各部は国体の選手養成を継続して指定されています。文化部関係では、運動部ほどの華やかさや躍動性は見られないのですが、昨年の復活した演劇部は、今年の会工祭で、披露しました。音楽部(吹奏楽委員会)の定期演奏会が十一月十三日(日)例年どおり会津風雅堂で催され、盛会のうちに終了しました。

同窓会関係

今年度の各地域の会工会、盛大で和やかに催されました。

狭き門の就職

十月二十三日の民友新聞によると、来春卒業予定で就職を希望する県内の高校生の内定率は52%、求人倍率が2.4倍と低調で、かつてない狭き門となっていることが報じられていました。

景気低迷を受けた厳しい雇用状況の今年度は、本校にとっても同様でありまして、求人企業数が一千社にとどまり、過去十年をみて最も低い数であります。

現在、内定一三九名、応募中十四名、未定十八名に達しております。

今年度の特徴として、公務員、大学・専門学校、希望者が大幅に増えたこと、また、内定一三九名中、県内が八七名おり、地元志向が急増したこと、また、不合格が四六名と多き

日野郡山市 吉田会長、梅津副会長、及川校長、小林教頭、梨子本先生、風間先生、二、東海会工会、六月五日(日)名古屋市 吉田会長及び、学校長、梨子本先生、三、近畿会工会、六月十二日(日)京都市 吉田会長及び半野教頭、江花先生、四、坂下会工会、九月九日(日)会津坂下町 手代木幹事長及び学校長、小林教頭、事務局長、各学科長と同窓職員、五、東京会工会、九月十日(日)東京都 吉田会長、藤島副会長、及び学校長、半野教頭、片平分校長、小沼先生、先生、梨子本先生、

なお、各会工会とも、和やかなうらに大盛会でした。東京会工会は年々会員が増え、総会も大勢出席し、

ゴルフや芋煮会など盛んで、喜ばしい限りですが、東海と近畿の会工会からは、若い同窓の諸君の参加者が少ないこと、卒業生がなかなか箱根の山を越えてくれないこと、と云うことでした。しかし、会員の皆様方は、和気あいあいの中にも意気軒高に会を運営されておられます。

出版に付きましてご紹介申し上げます。東京会工会室井会長さんが「たくましく男たち」を出版されましたので、格安で頒布下さいましたので、同窓会事務局(資料館用)と在校生に読ませたく図書館に備えることにしました。同窓会員の皆様にも一読をお薦めします。

この三月には、大塩唯男さん(万花楼社長)が「私の達った「御仏」たち」を出されました。会津の仏教文化学習の教科書のような

進路指導主事 稲田 盛夫

にわたり、特に県外企業の内定率が64%とかつてない低い数字となつてあらわれ、生徒が希望する企業には全数からの応募者が多かったこととみえ、競争で負けたことが報じられていました。

景気低迷を受けた厳しい雇用状況の今年度は、本校にとっても同様でありまして、求人企業数が一千社にとどまり、過去十年をみて最も低い数であります。

現在、内定一三九名、応募中十四名、未定十八名に達しております。

本です。これは是非一読を勧めます。先に新聞にも紹介された、堤章さん(堤製作所社長の「会津の鍛冶」は、四部作の超大作です。会津

の刃物造りを歴史的に詳述されています。会津の文化を学ぶ上で、染織、塗り物、酒造、陶磁器と並ぶ大切な資料であります。

同窓会事業報告

平成5年11月21日	会工同窓会総会(割烹萬花楼) 60名分
11月27日	会工同好会に会長ほか2名出席 同窓会幹事長斎藤恵一氏告別式 会長ほか2名出席
12月27日	合宿所修繕工事 (会津会工新年会(割烹萬花楼)) 建友会に梅津副会長ほか1名出席
12月28日	会工同窓会入会式(記念品も贈呈) 会長ほか7名出席 卒業式に会長ほか5名出席 会工卒業式祝賀会に会長ほか2名出席
2月25日	図録出版祝賀会(会長ほか4名出席(生粋)) 所蔵作品図録、染色型紙図録1,000部ずつ刊行
2月28日	同好会主催送別会に会長ほか3人出席 同好会主催歓迎会に会長ほか2名出席
3月2日	昭和電工(株)会工総会時に1名出席
3月7日	郡山会工総会時に梅津副会長、学校長ほか3名出席
3月8日	東海会工総会時に会長、学校長ほか1名出席
3月28日	近畿会工総会時に会長、教頭ほか1名出席
5月2日	同窓会役員会(本校) ①体育館フロアーマット ②遮光幕
5月12日	の補助について 学校案内パンフレット印刷代補助
5月19日	坂下会工総会時に会長ほか5名出席
6月5日	東京会工総会時に会長ほか6名出席
6月12日	新体育館ハット代補助 元幹事長、高畑恒夫氏告別式に会長出席
6月21日	同窓会旗、本部(2枚)、支部(5枚)の出来上がり
7月21日	
9月7日	
9月11日(出)	
9月13日	
10月11日	
10月19日	